

えんちょう通信

No. 4 4

令和 3 年 5 月 3 1 日

福島市立清水幼稚園

発行者 佐藤 一男

みんなとともにある幼稚園

5月27日(木)、幼稚園の朝の様子です。この日もお休みの子が一人もいません。38名全員が元気に登園してきました。

年少組の子どもたちは、自分たちの部屋を作って、みんなで「ままごと」をやっています。紙を丸めてお寿司を握ったり、チョコ味のドーナツをつくって売ったりしています。外からスマホで家に電話をかけている子もいます。「仕事が終わったから、これから帰るよ。」などと話しているのでしょうか。思い思いの遊びがあってとても楽しそうです。

2階の遊戯室では年長組の子どもたち26名が、全員で「猫とネズミ」というゲームをやっています。猫とネズミの2組に分かれて、猫のカードが出たら、猫がネズミをつかまえて、ネズミのカードのときは、逆にネズミが猫を追いかけます。捕まらない子が多い方が勝ちという「鬼ごっこ」です。ゲームのルールを理解して、仲良く遊んでいます。

そうやって子どもたちが遊んでいるその同じ時間に、園庭では鉄棒の周りの草取りをしてくださっている保護者の方がいます。朝、子どもを送ってきて、そのままボランティアでやってくださっています。

また事務室では、PTAのベルマーク委員の方が、ベルマークの集め方など今年度の活動について打ち合わせをしています。集めたポイントで子どもたちのために何を買おうかなどと夢が膨らんでいるようです。

小さな幼稚園ですが、子どもたちの幼稚園での生活は、このようにたくさんの皆さんの活動の積み重ねによって支えられています。



園外保育「田んぼにいこう」

○ 日時 6月11日(金) 9:00~11:10

(※雨の場合や熱中症が心配されるような場合は、17日(木)に延期します。)

○ 場所 安斉さんの水田(飯坂線 岩代清水駅のすぐ前の水田です。)

○ 引率 職員5名 ボランティアの保護者の方(※募集中です。ぜひお願いします。)

デジタル化が進展し、社会が急激に変化する中、そしてこのコロナ禍の中にあり、子どもたちが自然や社会、文化等に直接触れる機会が少なくなっているといわれています。

今回の園外保育では、以前からお世話になっている安斉さんの水田に出かけます。先日、下見に行きました。安斉さんの水田は、田植えもすっかり終わって一面緑が広がっていました。田んぼのあぜ道を歩いて、オタマジャクシをすくったり、カエルを捕まえたりさせていただきます。

こういう体験を積み重ねていくことで、子どもたちが人や自然を思いやることができる心優しい子に育ってくれることを、心から願っています。